

【学則別表】 専門科目法学部教育課程表 (2020年度以前入学生) 法律学科

(注) 1. 太字の科目は必修科目 2. ●は今後開講されない科目 3. □は卒業単位に算入されない科目 4. ▲は2017年度以前入学生のみ教職課程の対象となる科目で今後開講されない科目 5. ◇は2019年度以降入学生のみ履修可能な科目 6. ◆は2018年度以前入学生のみ履修可能な科目 7. 科目名の後ろの数字は単位数 8. 法律学科は政治システムコース選択不可 9. 科目左の数字は科目ナンバリングを示す。詳細は、履修心得を参照すること

Table with columns for '履修基準年度' (Academic Year), '基礎科目群' (Basic Subject Group), '教養科目' (General Education Subject), '教職等関連科目' (Teaching-related Subject), '他学部開設科目' (Subject offered by other departments), '専門導入科目' (Specialized Introductory Subject), '専門基幹科目' (Specialized Core Subject), '基礎法科目※' (Basic Law Subject), '演習科目' (Seminar Subject), '司法特修コース' (Specialized Law Course), '司法コース' (Law Course), '企業法務コース' (Corporate Law Course), '国際法政コース' (International Law and Politics Course), '公共政策コース' (Public Policy Course), '政治システムコース※' (Political System Course), and '選択専門科目' (Elective Specialized Subject).

§ 年度によって開講されない科目があるので注意すること。 § 教職免許取得に関しては、必ず入学年度の「教職課程等履修要項」で確認すること。なお下線の科目は政治学科科目であるが、法律学科生も履修可能。 § 帰国生徒入学試験を受けて入学した者の言語科目は、語学力を勘案したうえで、別に定める。 § 外国人留学生入学試験を受けて入学した者は、必修外国語を日本語とする。選択必修外国語については、母語以外の外国語を選択必修とする。 ※司法特修コースの選択者は、基礎法科目すべてを第2学年から履修可能とする。

全学科目【2012年度以前入学生】

Table with columns for 履修標準年度, 言語教育科目, 言語専門科目, スポーツ科学・健康科学科目, 情報科学科目, AI活用人材育成科目, 学際・連携科目. Includes course lists for 1st, 2nd, and 3rd years.

全学科目【2013年度以降入学生】

Table with columns for 履修標準年度, 言語教育科目, スポーツ科学・健康科学科目, 情報科学科目, AI活用人材育成科目, グローバルスタディーズ科目, ライフデザイン科目, 基盤・学際科目. Includes course lists for 1st, 2nd, and 3rd years.

★場合により履修標準年度が異なる。詳しくは「履修・学習要覧Webサイト」および「履修心得」を参照のこと。
§ 年度によって開講されない科目があるので注意すること。
※2018年度以降入学生は、卒業単位に含まれる。(キャリアゼミA、キャリアゼミB、キャリアゼミC、霞が関ゼミナー、海外インターンシップ)
§ 入門英語および英語・フランス語・ドイツ語インテュ・プログラムの単位をもって、言語科目の必修・選択必修科目単位の一部に代えることができる。